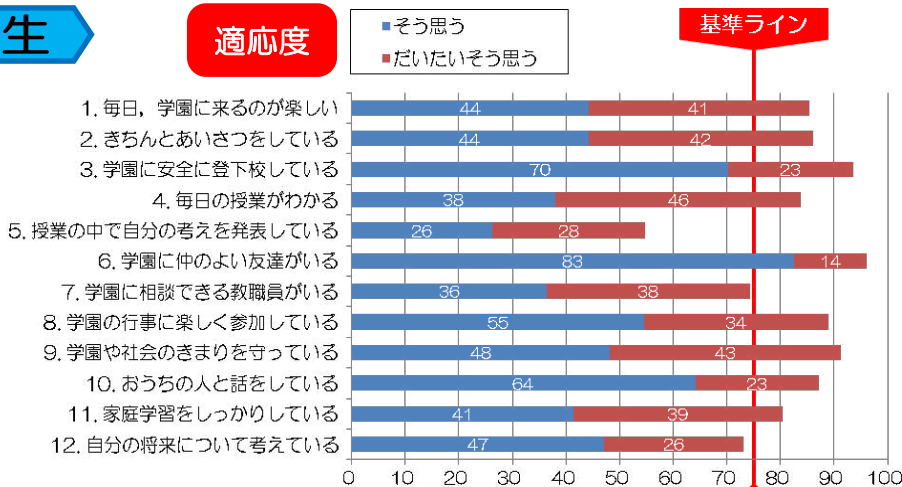


前期学園評価アンケート結果

平成27年
9月実施

学園生

適応度



《結果の

見方について》

- 学園生については適応度のみ、保護者については重要度と適応度についてアンケートを実施しました。
- 適応度については肯定的な回答のみをグラフ化し、75%を判断の基準としています。

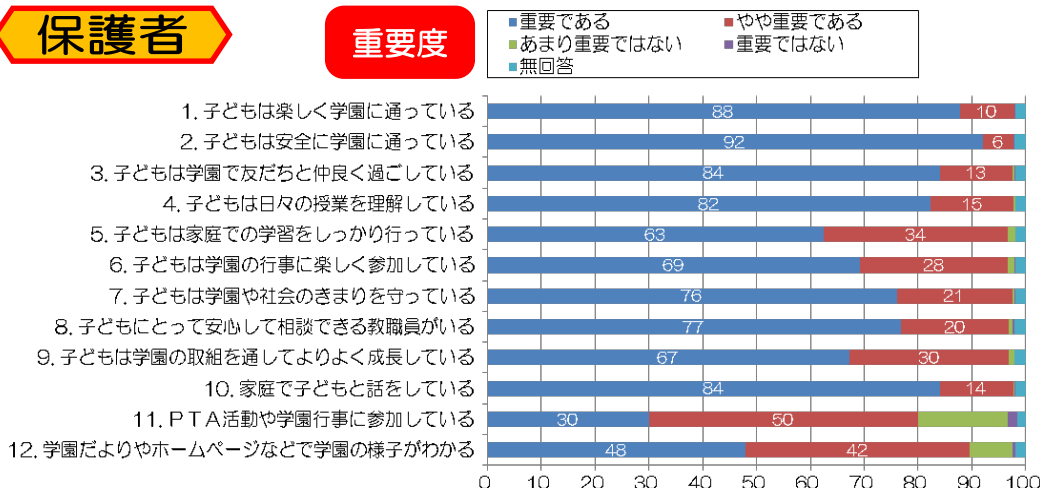
《結果を

もとにしての考察》

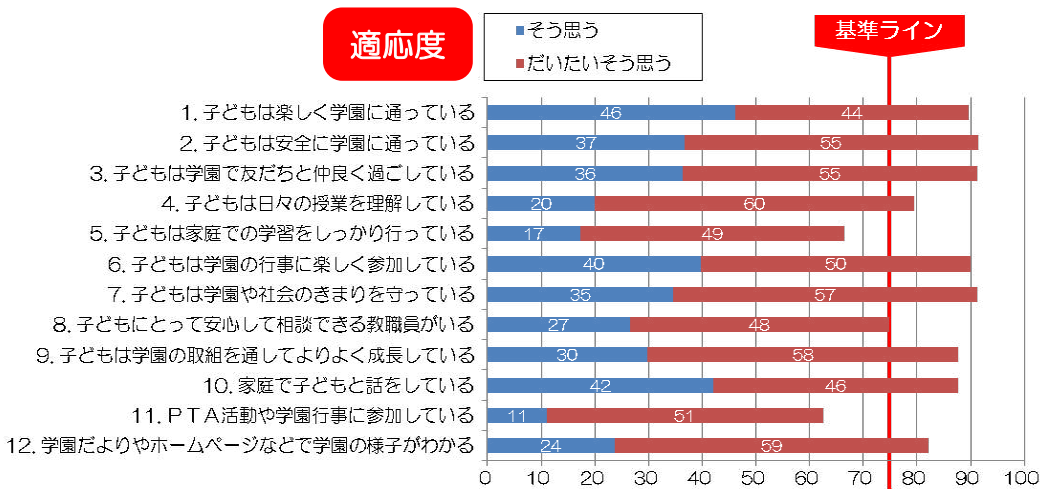
- 学園生については、「5. 授業の中で自分の考えを発表している」が大きく下回っていました。そのことから、特に第2・3ステージ学園生の実感を伴った発表の機会を充実させていく必要があると考えています。
- 保護者アンケートで75%を大きく下回った「5.子どもは家庭での学習をしっかりとっている」については、第3ステージ学園生もやや下回っていました。進路実現に向けて、自己を厳しく振り返っている面もあるかと思いますが、家庭学習のあり方を今一度考え、自律的に学習に向かえるように育んでいきたいと考えています。
- 保護者アンケートでは、「11.PTA活動や学園行事に参加している」が、重要度・適応度とも低い値でした。この点についてはPTAとも協力し合い、活動の周知を図ると共に参加しやすい方策を考えていきたいと思っています。
- 自由記述欄に書いていただいた内容の中には、関係機関や地域の方々にご協力いただかなければならないものもありましたので、対処できるものにつきましては連携を取りながら、共に子どもを育むという視点から対応するよう考えていきます。

保護者

重要度



適応度



保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回提出いただいたアンケート用紙は、525枚でした。結果としては、昨年度と同様、おおむね肯定的な回答が多かったのですが、課題も見られたり自由記述欄でご意見をいただいたりしています。学園運営協議会理事の方からも、学園生の現状や実態に即して取組を考えていくことの必要性をご示唆いただいています。これらのことを踏まえて、さらなる本学園の教育活動の充実にあたっていきたく思います。今後も引き続き、本学園教育にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。